

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-01	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館施設の管理	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪		
		担当者名	泉谷・黄幡	内線	436		
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	管理費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	図書館法、荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価 事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、安全面での利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	区立図書館（5館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1／敷地面積2,723.96㎡／延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・荒川図書館：荒川4-27-2／敷地面積2,004.84㎡／延床面積1,165.29㎡ ・尾久図書館：西尾久3-12-12／敷地面積1,328.94㎡／延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18／都営住宅敷地内／延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4／敷地面積893.92㎡／延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114／延床面積124.07㎡ ・冠新道図書サービスステーション：西日暮里6-25-14／延床面積181.44㎡						
経過	・昭和37年 3月荒川図書館開館、昭和46年 9月尾久図書館開館、昭和48年 4月旧南千住図書館開館、昭和51年10月町屋図書館開館、昭和54年 6月日暮里図書館開館 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成15年 4月 南千住図書館で月曜の祝日開館実施 ・平成16年 9月 地域館の機械警備を実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成19年 9月 汐入サービスステーションを開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） ・平成21年11月 冠新道サービスステーションを開設 ・平成25年 4月 地域館に夜間警備員を配置 ・平成26年 3月 地域館に防犯カメラを設置						
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		60,652	58,795	58,456	65,168	64,042	80,333	84,457
	①決算額（28年度は見込み）		56,560	53,655	57,758	62,204	62,892	75,052	84,457
	②人件費等		12,487	14,397	8,674	13,886	13,724	12,922	
	③減価償却費		4,358	5,287	3,388	6,084	6,177	6,143	
	【事務分担量】（%）		150	170	105	180	190	180	
	合計（①+②+③）		73,405	73,339	69,820	82,174	82,793	94,117	84,457
	特定財源	国	0	0	0	0	0		
		都	0	0	0	0	0		
		その他	325	228	230	273	0		
		一般財源	73,080	73,111	69,590	81,901	82,793	94,117	84,457
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	入館者数（人）		1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,300,000
	個人貸出者数（人）		671,737	666,490	659,851	652,099	648,657	660,207	605,200
	個人総貸出点数（点）		2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,904,021	1,745,400
	住基人口（翌年1月1日）		204,837	205,831	206,457	207,635	209,087	211,271	212,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	電気・ガス・水道等	31,278	需用費	電気・ガス・水道等	29,740	需用費	電気・ガス・水道等	35,565
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,705	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,103	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,197
委託料	各館設備保守業務委託	27,806	委託料	各館設備保守業務委託	27,629	委託料	各館設備保守業務委託	30,609
使用料等	A E D 賃借	104	使用料等	A E D 賃借	13,580	使用料等	A E D 賃借	14,086

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	貸出点数一点当たりの経費(円)	30	33	39	33	33	決算額÷個人総貸出点数
②	区民一人当たり個人総貸出点数(点)	9.2	9.0	9.0	9.1	9.1	個人総貸出点数÷住基人口
③							

（問題点・課題分析）	・指標を維持するためには、建物設備の維持管理を適切に行うとともに、魅力ある図書館づくりをすすめ、来館者数や貸出点数を増やす必要がある。 ・利用者の要望を受け、南千住図書館に平成26年夏に飲食が可能なコーナーを設置したが、今後も各図書館における快適な読書環境づくりを図るとともに、光熱水費の節約や設備の適正な維持管理に努めるとともに、保守点検結果等を活用し、計画的な修繕を進め、突発的な対応を未然に防ぐ。 ・複合施設の開館、(仮称)宮前公園内新尾久図書館の建設を踏まえ、図書館全体の維持管理業務の効率化を考慮した契約の更新を検討する必要がある。						
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）						

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	複合施設開設後の各館のあり方を踏まえた維持管理業務契約の検討	複合施設開設後の各館のあり方を踏まえ、維持管理、保守点検業務の長期継続契約を実施した。	図書館全体の維持管理業務の効率化に配慮しつつ、各館の適切な維持管理に努めていく。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、前年度並の決算額を目指し、効率的な維持管理業務の執行に努め、継続して実施する。

況議 (要 会 質 問 状)	・ H2711会議 複合施設の準備と各図書館の充実について
-------------------------------	-------------------------------

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード		04-05-02	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事										
事務事業名	図書資料の購入			部課名	地域文化スポーツ部図書館課		課長名	田窪										
				担当者名	森		内線	436										
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）		01-02-01	図書購入費															
事務事業の種類		○新規事業（○28年度○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業											
開始年度	●昭和○平成25年度			根拠	荒川区立図書館館則、荒川区立図書館資料取扱													
終期設定	○有●無年度			法令等	規程、荒川区立図書館資料収集要綱													
実施基準	○法令基準内○都基準内●区独自基準			計画区分	○計画		●非計画											
行政評価事業体系	分野	Ⅱ子育て教育都市																
	政策	04心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成																
	施策	13図書館サービスの充実																
目的	区民の学習意欲を喚起し、読書活動をより活発化させるため、図書資料を充実し、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指す。																	
対象者等	図書館利用者																	
内容	・荒川区立図書館資料収集要綱に基づき、生涯にわたる読書活動を推進するため、多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供している。 ・「これからの図書館調査懇談会」（平成18年度）の提言を受け、平成20年度から全館の収集基準を設け、特色ある図書館づくりを進めている。 【各館の分担収集】 <table> <tr> <td>南千住</td> <td>哲学、宗教、歴史、地理、教育、芸術、地域資料等</td> </tr> <tr> <td>荒川</td> <td>政治、行政、法律、社会、福祉、スポーツ等</td> </tr> <tr> <td>尾久</td> <td>自然科学、医療、言語、海外文学等</td> </tr> <tr> <td>町屋</td> <td>技術、環境、コンピューター、産業、日本文学等</td> </tr> <tr> <td>日暮里</td> <td>経済、財政、民族、外国語図書、アジア等</td> </tr> </table>								南千住	哲学、宗教、歴史、地理、教育、芸術、地域資料等	荒川	政治、行政、法律、社会、福祉、スポーツ等	尾久	自然科学、医療、言語、海外文学等	町屋	技術、環境、コンピューター、産業、日本文学等	日暮里	経済、財政、民族、外国語図書、アジア等
南千住	哲学、宗教、歴史、地理、教育、芸術、地域資料等																	
荒川	政治、行政、法律、社会、福祉、スポーツ等																	
尾久	自然科学、医療、言語、海外文学等																	
町屋	技術、環境、コンピューター、産業、日本文学等																	
日暮里	経済、財政、民族、外国語図書、アジア等																	
経過	・平成5年度 図書館オンラインシステムの稼動に合わせて、新刊配本を一カ所とし、合同で選択会議を行 - う集中発注受入方式を導入 ・平成18年度 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定（19年3月） ・平成20年度 区立図書館それぞれの地域性に合わせた「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集を実施																	
必要性	利用者の多様化するニーズに的確に対応し、図書館の本質的な機能である資料の提供を担うために、必要な事業である。																	
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 毎週火曜日、各館の代表者による図書の合同選択会議を開催。あらかじめ配本された新刊本の内容を確認しながら、図書館資料収集基準に基づき選書を行い、書店組合荒川支部に発注している。																	

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		74,666	76,072	72,662	69,029	69,029	70,851	69,656
	①決算額（28年度は見込み）		73,048	76,030	71,689	68,407	68,835	70,353	69,656
	②人件費等		18,731	19,210	19,339	14,338	12,088	12,072	
	③減価償却費		9,006	9,797	9,810	6,929	5,689	5,973	
	【事務分担量】（%）		310	315	304	205	175	175	
	合計（①+②+③）		100,785	105,037	100,838	89,674	86,612	88,398	69,656
	特定財源	国		0	0	0	0	0	
都			0	0	0	0	0		
その他			0	0	0	0	0		
一般財源		100,785	105,037	100,838	89,674	86,612	88,398	69,656	
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	図書雑誌蔵書冊数(冊)		751,425	752,184	760,077	769,836	766,826	722,573	722,000
	個人総貸出点数(点)		2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,904,021	1,925,000
	図書購入冊数(冊)		47,554	40,809	37,939	38,675	35,727	34,225	34,000
	雑誌購入冊数(冊)		16,733	16,562	16,305	16,207	15,771	15,566	15,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	資料等購入費	68,835	需用費	資料等購入費	70,353	需用費	資料等購入費	69,656

指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
① ② ③	①	区民一人当り蔵書冊数(冊)	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	蔵書冊数÷住基人口
	②	区民千人当り図書購入冊数(冊)	186	171	161	160	160	年間購入冊数÷住基人口千人
	③	区民一人当り個人総貸出点数(点)	9.2	9.0	9.0	9.1	9.1	個人総貸出点数÷住基人口

（問題点・課題 指標分析）	・施設規模の蔵書容量から所蔵数には限界があり、この中で区民の知的好奇心を満たす新鮮で魅力ある書架構成を行うには、図書館職員の選書能力の向上及び図書情報と社会情勢に対する日々の研鑽が重要である。 ・図書資料の購入方法については、四半期ごとに執行予定を設定することで、現物見計らい選書の充実を図ったところであるが、ゆいの森あらかわの開設及び東京都書店商業組合荒川支部の主な仕入れ先である日販図書館サービスの事業撤退に伴い、図書資料の購入方法全般について調整を図る必要がある。							
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）							
他区の実況								

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	医療とビジネスについて、特集コーナーの設置やパスファインダーの作成などを重点的に取り組んでいく。	医療やビジネス等の専門分野について、専門書の充実を図り、パスファインダーの作成やＢＰ・チラシなどによるＰＲを行った。	ゆいの森あらかわの開館に伴い、図書資料の購入方法について見直しを図る。
②	複合施設「ゆいの森あらかわ」の開館に向け、図書館のあり方に合わせた、分担収集の見直しを図る。	ゆいの森あらかわの開館及び新尾久図書館の基本設計に向け、地域図書館の特色について検討を進めた。	ゆいの森あらかわの開館及び新尾久図書館の基本設計に向け、地域図書館のあり方を策定する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	ゆいの森あらかわの開設に対応できる購入方法の見直しを進めながら、現物見計らいなど図書館職員の選書による図書資料の充実を図ることは、図書館で優先すべき事業である。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-03	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	視聴覚サービス	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	担当者名	本宮・狩野
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-02	視聴覚費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和 ○平成 37年度		根拠	図書館法第3条、荒川区立図書館館則第2条			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館において、視聴覚資料を提供し、利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	○16ミリ映写機検査（年1回） ○視聴覚資料（CD・カセットテープ・DVD）の購入と貸出 ○各種消耗品の購入（CDケース・CD貸出袋・CD仕切版、16ミリ映写機用消耗品、ビデオテープ用消耗品等） 【平成27年度視聴覚資料の貸出数】 CD 178,237点 ビデオテープ 1,802点 カセットテープ 2,339点 16ミリフィルム 74点 DVD 20,142点						
経過	昭和45年度 16ミリフィルムの貸出実施 昭和61年度 CDの貸出実施 昭和63年度 16ミリ映写機の検定実施 平成10年度 16ミリ映写機の操作講習会が社会教育課から図書館に移管 平成18年度 16ミリ映写機の操作講習会を受講者実績の減少により休止 平成18年度 DVDの貸出実施						
必要性	図書館が、図書以外の資料として視聴覚資料を①教育的利用②鑑賞的利用③趣味的利用を目的として提供することは、より多くの利用者に対するサービスの充実を図るため必要である。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） ○16ミリ映写機の検定：年1回専門技術者による点検・整備を図書館で実施 ○CD・DVDの購入：毎月1回、各図書館の担当者からなる選定会議を開催し、新譜リスト等により選定						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		9,816	8,441	8,034	7,291	7,371	6,781	7,378
	①決算額（28年度は見込み）		8,443	8,296	7,865	7,215	7,236	6,736	7,378
	②人件費等		4,639	4,507	1,239	1,663	1,545	1,539	
	③減価償却費		1,743	1,866	484	676	650	683	
	【事務分担量】（%）		60	60	15	20	20	20	
	合計（①+②+③）		14,825	14,669	9,588	9,554	9,431	8,958	7,378
	特定財源	国	0	0	0	0	0		
		都	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	14,825	14,669	9,588	9,554	9,431	8,958	7,378
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	16ミリ映写機検定実施台数(台)		31	29	31	14	10	9	7
	視聴覚資料所蔵点数(点)		46,614	47,166	47,859	48,839	47,646	47,000	48,000
	DVD所蔵点数(点)		898	1,090	1,240	1,387	1,535	1,600	1,650
	ビデオ所蔵点数(点)		3,050	3,020	2,747	2,676	2,594	2,500	2,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	C D等購入	7,204	需用費	C D等購入	6,707	需用費	C D等購入	7,303
委託料	16ミリ映写機検査技師謝礼	32	委託料	16ミリ映写機検査技師謝礼	29	委託料	16ミリ映写機検査技師謝礼	30
						備品購入費	プロジェクター	45

指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
① ② ③	D V D蔵書率（％）		36	37	41	43	43	D V D所蔵数÷ビデオ所蔵数
	区民一人当り視聴覚資料個人貸出 点数(点)		1.1	1.0	0.96	0.95	0.95	視聴覚資料個人貸出点数÷住基人 口
	区民千人当り視聴覚資料所蔵点数 (点)		235	227	225	225	225	視聴覚資料所蔵点数÷住基人口千 人

（問題点・課題分析）	・視聴覚資料のリクエストは、最新のJポップスや娯楽映画に集中することが予想されるため、受け付けていないが、区民のニーズに対応しつつ、様々なジャンルを幅広く収集する必要がある。 ・ゆいの森開館に向けて、視聴覚資料の効率的な購入作業を進めていく。 ・カセットテープの販売数減少やビデオテープの販売終了、ブルーレイディスク（BD）や音楽のダウンロードの普及など視聴覚資料の発行形態の技術的变化に対応していく必要がある。 ・16ミリ映写機については、現在では部品の製造が行われていないため、故障した場合は修理ができない場合がある。							
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）							
他区の実況								

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	貴重な地域資料の劣化防止を検討する。	映像による貴重な地域資料の劣化防止について検討した。	ゆいの森開館に合わせて、16ミリフィルムやVHSビデオテープのあり方について検討する。
②	複合施設の開設に向けた地域資料となる視聴覚資料を充実させる。	ゆいの森開館に向けた地域資料となる視聴覚資料の充実を図った。	ゆいの森開館に向け、これまで購入できなかった様々なジャンルの名盤や全集などを網羅的に収集する。
③	多様化する音響資料の活用策等を検討する。	多様化する音響資料の動向分析を行い、当面は情報収集を継続することとした。	音響配信などの電子的な資料の扱いについて、調査研究を進める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	ゆいの森あらかわの開館に向けた様々な分野の資料収集など、図書館サービスの基盤である視聴覚資料の充実を図るため、優先度の高い事業である。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-04	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	障がい者サービス	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	担当者名	中田
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-03	障がい者サービス費	内線	436			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和 ○平成 56年度		根拠	荒川区立図書館館則第2条			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区障がい者プラン			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	視覚障がい者に対する録音図書・点字図書の充実など、障がいのある利用者へのサービス向上に努める。						
対象者等	障がいや高齢者等の理由により、図書館利用が困難な区民						
内容	【図書資料の宅配サービス】 何らかの障がいにより、図書館への来館が困難な方を対象に、職員が図書資料（本・カセット・CD・ビデオ・DVD録音図書）を自宅まで配達。貸出期間は1カ月 【対面音訳サービス】 活字資料の利用が困難な方に、対面音訳者が必要な図書資料をその場で読むサービス 【その他のサービス】 区内の福祉施設（のぞみの会・ひまわり作業所等）への団体貸出の実施。福祉まつりへの参加 【録音図書の製作と貸出】 利用者からのリクエストや職員が選んだ図書を音声化して作成する。音訳はボランティアに依頼しており、内容の録音、校正を経て完成させる。平成20年度からはデジタイズ図書の作成を開始 また、録音技術の習得と向上を目的とした音訳者養成講座を実施している。						
経過	昭和56年12月 「図書館利用に障がいのある人々へのサービスの基本計画」を策定 昭和57年 4月 昭和56年の国際障害者年を契機に障がい者サービス事業を検討し、家庭配本・対面朗読（現在は「対面音訳」）開始 昭和58年10月 カセットテープによる録音図書の貸出を開始 昭和59年 1月 点字図書作成開始 平成18年 デジタイズ図書貸出開始、障害者自立支援法完全施行 平成23年 3月 日本点字図書館が図書貸出を終了 平成28年 4月 障害者差別解消法施行						
必要性	社会参加や情報バリアフリーの促進のため、何らかの障がいのある方に、より多くの図書館資料を提供する必要がある。 録音図書のデジタイズ化は利便性・耐久性に優れており、利用者のサービス向上にも繋がる事業である。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 点字図書・録音図書の作成：ボランティア（養成講座修了者及び受講者）に協力いただいて作成 音訳者養成講座：音訳者としてのレベルアップを図るため、外部から講師を呼び実施						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		3,105	3,237	2,143	1,353	1,361	1,335	1,351
	①決算額（28年度は見込み）		2,331	2,522	1,523	1,222	1,141	1,142	1,351
	②人件費等		1,744	3,388	3,717	4,159	3,863	3,848	
	③減価償却費		581	1,244	1,452	1,690	1,626	1,707	
	【事務分担量】（%）		20	40	45	50	50	50	
	合計（①+②+③）		4,656	7,154	6,692	7,071	6,630	6,697	1,351
	特定財源	国	0	0	0	0	0		
		都	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	4,656	7,154	6,692	7,071	6,630	6,697	1,351
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	宅配サービス実績回数（回）		412	395	339	369	353	370	370
	HS登録者数（人）		120	117	121	114	114	120	120
	HS資料個人貸出点数（点）		2,273	2,239	1,871	2,249	2,112	2,200	2,200

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	音訳者養成講座講師謝礼	453	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	483	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	590
需用費	デージー図書等	447	需用費	デージー図書等	419	需用費	デージー図書等	521
委託料	講習会委託	200	委託料	講習会委託	200	委託料	講習会委託	200
負担金補助等	サピエ利用料	40	負担金補助等	サピエ利用料	40	負担金補助等	サピエ利用料	40

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	障がい者利用登録者率（％）	4.0	4.3	4.4	6.0	6.0	HS登録者数÷対象者数（肢体不自由及び視覚障がい1・2級）
②	デージー図書貸出普及率（％）	92.0	96.8	96.8	98.0	98.0	D A I S Y 図書貸出点数÷録音図書貸出点数
③	HS登録者一人当たりのHS所蔵点数（点）	26.3	26.4	26.5	25.4	25.4	HS資料所蔵点数÷HS登録者数

（問題点・課題分析）	・図書館になかなか足を運べない高齢者施設利用者に向けて、新たな利用案内が必要である。 ・録音図書作成における音訳・校正・編集等の専門スキル修得のための区民向け講座・研修を開催しており、今後も継続的かつ積極的に音訳者の養成を行っていく必要がある。 ・デージー図書再生機の操作説明を、利用者の高齢化に伴い、きめ細かく行っていく必要がある。 ・全国視覚障害者情報提供施設協会が運営しているサピエに加盟し、デージー図書をダウンロードし活用している。様々なニーズに応えるため、サピエで提供されているデージー図書と併用しながら、図書館独自でもデージー図書を作成していく必要がある。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	高齢者の増加が見込まれるため、利用案内を活用し、利用者の拡大に努める。	窓口での声かけなどにより、障がい者サービスの案内を行った。	身体障がい者だけでなく、精神障がい者など、様々な障がい者に対応できるサービスを検討する。
②	養成講座に参加した方が、自主的に活動を行えるように育成していく。	養成講座修了者のレベルアップを目指し、より実践的なステップアップ講座を実施した。	養成講座修了者のレベルアップを目指し、引き続きステップアップ講座を実施する。
③	今後もサービスを必要とする利用者のためにさらなる資料の充実に努める。	デージー図書として販売されていない資料で所蔵が必要な資料をデージー図書として14タイトル作成し、資料の充実に努めた。	今後もボランティアの協力を得ながらデージー図書の作成を行い資料の充実に努めていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	障がい者差別解消法の施行を受け、障がい者サービスをさらに充実させるためにも、優先度の高い事業である。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-05	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館オンラインシステム	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪		
		担当者名	本宮	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-04	図書館オンラインシステム					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	○昭和 ●平成		5年度	根拠	荒川区個人情報保護条例、荒川区電子情報システム管理運営規程		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館オンラインシステムを活用することで、図書館の業務（蔵書管理・貸出返却・予約等）の運営を円滑にし、利用者の利便性の向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	- 区立図書館5館及び図書サービスステーション2カ所を結んだオンラインシステムにより、資料選択、発注、受入、回送等の一連の業務を集中発注方式で処理している。 - 利用者は、どこの館でも貸出、返却、予約等ができ、携帯電話や自宅のパソコンからも、資料の検索や予約、予約・貸出状況の確認、貸出延長などの手続きが可能。 - 現行の図書館オンラインシステムは、平成22年4月に稼働し、平成27年3月で機器等のリース期間が満了したが、「ゆいの森あらかわ」の開設時期に合わせ、約2年間の再リースを行っている。開館予定時期である平成29年3月を目途に、「ゆいの森あらかわ」を始めとする区立図書館が、区民の身近な生涯学習活動の拠点としての役割を一層発揮できるよう、最新のパッケージによる図書館オンラインシステムに更新し、新たな機能の導入と様々な情報発信サービスの充実を図る。						
経過	平成10年 5月 1日 南千住図書館開館（祝日開館実施） 平成11年 4月10日 図書館コンピュータ新システム稼働 平成13年 7月 7日 インターネットによる資料の検索・予約サービス開始、図書館ホームページ開設 平成14年 2月18日 携帯での検索・予約サービス、インターネットによる貸出・予約照会サービス開始 平成16年 4月 1日 図書館コンピュータ新システム稼働 平成16年 4月 3日 パスワード・メールアドレス登録、予約確保時連絡メール自動送信、メール督促開始 平成18年 7月14日 全館でノートPCに加えてデスクトップPCによるインターネットサービス開始 平成21年 3月 1日 全館で無線LAN規制ソフト導入 平成22年 4月 3日 オンラインシステムリプレイス・HPリニューアル 平成27年12月28日 新図書館オンラインシステム導入等委託事業者の選定に係る公募の開始 平成28年 3月24日 新図書館オンラインシステム導入等委託事業者の選定						
必要性	区立図書館資料の管理・貸出等の業務はすべて図書館オンラインシステムにより集中管理しているため、必要不可欠な機能である。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 図書館オンラインシステムの維持管理は、直営で対応しているが、システム関連機器の保守や配本車の運行、マーク購入、専用回線の利用などは、専門の業者と個別に契約し運営している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		49,681	51,506	50,455	47,908	52,303	41,989	51,037
	①決算額（28年度は見込み）		45,468	48,949	47,909	46,778	49,770	39,700	51,037
	②人件費等		16,028	17,969	11,152	17,632	16,609	16,546	
	③減価償却費		7,117	8,708	4,356	7,166	6,990	7,338	
	【事務分担量】（%）		245	280	135	212	215	215	
	合計（①+②+③）		68,613	75,626	63,417	71,576	73,369	63,584	51,037
	特定財源	国	0	0	0	0	0		
		都	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		68,613	75,626	63,417	71,576	73,369	63,584	51,037
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	個人登録者数（人）		55,566	55,280	54,289	53,391	52,737	54,345	55,000
	パスワード登録者数（人）		18,134	18,356	19,618	19,618	20,012	20,006	20,500
	予約登録点数（点）		562,336	585,183	590,556	586,058	577,807	588,498	600,000
	WEB予約登録点数（点）		406,774	431,433	441,312	441,949	441,139	452,171	460,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	利用者カード等印刷製本	3,982	報償費	財務診断謝礼	79	賃金	アルバイト賃金	1,438
役務費	配本車運行等	11,444	需用費	図書マーク購入等	4,749	需用費	図書マーク購入等	4,951
委託料	システム機器等保守	19,350	役務費	配本車運行等	12,334	役務費	配本車運行等	12,300
使用料等	システム機器等賃借	13,083	委託料	システム機器等保守	20,568	委託料	システム機器等保守	30,222
備品購入費	貸出用P C等	1,912	使用料等	システム機器等賃借	1,970	使用料等	システム機器等賃借	2,082
						備品購入費	タイプライター	44

指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	パスワード登録者の割合（％）		36.7	37.9	37.8	39.0	39.0	パスワード登録者÷個人登録者数
	② インターネット予約の割合（％）		75.1	76.3	76.8	78.0	78.0	インターネット予約登録点数÷予約登録点数
	③							

（問題点・課題分析）	・新図書館オンラインシステムでは、資料の書影表示や全文検索エンジンの導入、多言語表記に対応するとともに、吉村昭氏の作品を中心とした地域情報のデジタルアーカイブ及びデジタルサイネージを構築し、様々な利用者サービスの向上を図るとともに、図書館独自のネットワークを荒川区の情報系ネットワークに統合し、インターネットデータセンターを活用することで、セキュリティ機能の強化と資源の共有化を図っていく。 ・新システムを踏まえた業務運用の調整や、既存システムからのデータ抽出、マーク（図書及びＡＶ）の選定移行、特別整理や職員研修の実施など、新しい図書館システムの円滑な導入に向けて様々な作業を遅滞なく進めていく必要がある。							
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）							
他区の実況								

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	新図書館システムの選定 ・内容検討 ・プロポーザルの実施 新図書館システムの開発	新図書館システムの選定 ・内容検討 ・プロポーザルの実施 ・委託候補事業者の選定	新図書館システムの開発・稼働 ・業務運用の調整 ・職員研修 ・既存データ抽出 ・利用者周知 ・マークの選定移行
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	継続	利用者の利便性向上を図り効率的なサービスを提供するため、新図書館システムの円滑な稼働に向け、業務運用の調整や職員研修などを進めていく。

況議 （要 旨） 会 質 問 状	
------------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード		04-05-06	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	子ども読書活動推進計画事業			部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	
				担当者名	中嶋		内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）		01-02-05	子ども読書活動推進計画事業費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和●平成18年度			根拠	子どもの読書活動の推進に関する法律			
終期設定	○有●無年度			法令等				
実施基準	○法令基準内○都基準内●区独自基準			計画区分	●計画○非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅱ子育て教育都市						
	政策	04心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成						
	施策	13図書館サービスの充実						
目的	子どもたちの読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援することにより、子どもたちが「本に親しむ」きっかけを増やす。							
対象者等	区民全体							
内容	平成28年4月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、家庭・地域、学校、図書館が連携して以下のような事業を行う。 1 本に親しむ子を育む ～就学前を中心に、家庭や地域における読書活動を推進 出産を迎える方に向けた事業、幼児、児童とその保護者に向けた事業、保育園・幼稚園での取組等 2 子どもの世界を広げる ～学校図書館を中心とした小中学校における取組を推進 学校図書館の活用、図書館職員による学校訪問等の実施等 3生涯を通じて本に親しむ環境を充実する～より多くの人が区立図書館を利用し、たくさんの本や情報と出会うための取組を推進 中学生・高校生の利用拡大に向けた取組、新たな滞在型図書館の整備等 4読書のまちづくりを進める～地域における読書環境の充実とボランティア等による活動を推進 街なか図書館の整備、地域における読み聞かせやおはなし会等の活動環境づくり等							
経過	平成18年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画」策定 平成20年 7月 第一回柳田邦男絵本大賞を創設 平成21年 1月第一回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成22年 1月 第三回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第二回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成23年 1月 第四回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第三回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定 平成24年 1月 第五回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第四回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成25年 1月 第五回柳田邦男絵本大賞を表彰（単独開催） 平成26年 1月 第六回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成27年 1月 第七回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成28年 1月 第八回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定							
必要性	子どもたちの読書離れの改善、読書力や国語力向上のため、必要である。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員）							

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		4,872	5,936	7,009	6,306	6,118	6,307	5,424
	①決算額（28年度は見込み）		3,898	4,581	5,826	5,367	5,857	5,496	5,424
	②人件費等		9,523	14,460	8,079	12,042	9,318	8,591	
	③減価償却費		4,358	6,998	5,325	7,098	5,527	5,461	
	【事務分担量】（%）		150	225	165	210	170	160	
	合計（①+②+③）		17,779	26,039	19,230	24,507	20,702	19,548	5,424
	特定財源	国	0	0	0	0	0		
		都	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		17,779	26,039	19,230	24,507	20,702	19,548	5,424
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	講演会(児童・10代) 参加人数(人)		57	16	—	—	—	—	—
	ボランティア養成講座参加人数(人)		148	164	112	140	113	120	120
	講習会(読み聞かせ等)参加人数(人)		16	16	33	37	37	38	40
	(24年度から布絵本の講習会開始)								

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	講演会等講師謝礼	659	報償費	講演会等講師謝礼	670	報償費	講演会等講師謝礼	744
需用費	消耗品、印刷製本費	5,111	需用費	消耗品、印刷製本費	3,927	需用費	消耗品、印刷製本費	4,495
役務費	筆耕等	32	役務費	筆耕等	32	役務費	筆耕等	32
使用料等	会場使用料	55	委託料	アンケート調査委託	680	使用料等	会場使用料	53
			使用料等	会場使用料	46	備品購入費	キリンラック他	100
			備品購入費	紙芝居架他	141			

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	区立図書館における区内小学生の利用者登録率(%)	64.5	63.7	64.7	65.0	65.0	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。
	区立図書館における区内中学生の利用者登録率(%)	62.8	63.2	63.0	65.0	65.0	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。
	③						

（問題点・課題分析）	・第三次荒川区子ども読書活動推進計画の策定を踏まえ、関係各課と連携を図り、計画事業を確実に進める必要がある。 ・柳田邦男絵本大賞については、子どもの部は引き続き学校の協力を得て応募者の確保を図り、一般の部は大人に絵本に触れる機会を増やすなどの工夫により応募者拡大を図る。 ・4月23日の「子ども読書の日」や10月27日の「文字・活字文化の日」にちなんだ読書に関する啓発活動を行い、生涯を通じた読書活動の意義を積極的にPRする必要がある。
	（実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区） 未実施の2区は、区独自の計画にて読書活動を推進している。

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	関連部署も含めて策定委員会を開催し、生涯を通じた読書活動を支援する第三次荒川区子ども読書活動推進計画を策定する。	関連部署も含めて策定委員会を開催し、生涯を通じた読書活動を支援する第三次荒川区子ども読書活動推進計画を策定した。	団体貸出の拡充による街なか図書館の検討など、新規事業について、早期の実施を図る。
②	表彰式のあり方も含め、柳田邦男絵本大賞のさらなる充実を図る。	柳田先生のメッセージ入りちらし等の働きかけにより、応募者数が1000件を超えた。表彰式に合わせて区民対象の講演会を実施した。	大人に絵本に触れる機会を増やすイベントを開催するなど、一般の部の応募者増に向けた取組を充実する。
③	絵本専門士を中心に、複合施設開館に向け、絵本の選書、絵本に関する取組等について推進する。	絵本専門士を含めた複合および図書館職員によるPTにおいて、複合施設における絵本館のディスプレイや絵本の選書の検討を行った。	第三次子ども読書活動推進計画を踏まえて絵本の魅力を発信する取組を強化する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	地域社会全体で子どもの読書活動を推進していくため、きわめて優先度の高い事業であり、第三次計画の重点事業や新規取組を中心に取り組んでいく。

況議 （要 旨） 会 質 問 状	
------------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-07	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館の運営	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪		
		担当者名	保坂	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-03-01	図書館事務費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	図書館法、文字・活字文化振興法、荒川区立図書館館則			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館運営を適切に実施することにより、図書館の快適性を維持し、利用を促進する。						
対象者等	図書館利用者						
内容	○区立図書館各館の運営や事業に必要な臨時職員雇用、消耗品購入、利用案内の作成、コピーサービス等を実施。 ○非常勤職員設置状況（平成28年4月1日現在） ・南千住図書館 非常勤職員30名配置（上級主任3名、主任4名、上級10名） ・荒川図書館 非常勤職員14名配置（上級主任1名、主任2名、上級6名） ・尾久図書館 非常勤職員13名配置（上級主任1名、主任3名、上級1名） ・町屋図書館 非常勤職員13名配置（上級主任1名、主任2名、上級7名） ・日暮里図書館 非常勤職員18名配置（上級主任1名、主任6名、上級3名） 合計89名（上級主任7名、主任17名、上級27名）						
経過	昭和37年 3月 現荒川図書館開館 昭和46年 9月 尾久図書館開館 昭和48年 4月 旧南千住図書館開館 昭和51年10月 町屋図書館開館 昭和54年 6月 日暮里図書館開館 昭和56年 4月 開館時間が9時半～19時半となる。 平成 4年 5月 日暮里図書館に吉村昭コーナー設置（平成16年9月より全館で開設） 平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施。 平成13年度より全館で非常勤職員を採用 平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 平成19年 9月 汐入サービスステーション開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） 平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設						
必要性	区民の読書推進と図書館利用の促進のため、直営を維持し、今後も図書館サービスを充実する必要がある。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ●臨時職員）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		16,125	15,991	17,229	17,925	16,813	19,217	19,574
	①決算額（28年度は見込み）		14,733	14,643	16,011	16,778	15,832	18,231	19,574
	②人件費等		15,749	15,307	25,170	28,893	28,805	28,298	
	③減価償却費		6,827	7,309	16,425	22,984	22,757	22,867	
	【事務分担量】（%）		235	235	509	680	700	670	
	合計（①+②+③）		37,309	37,259	57,606	68,655	67,394	69,396	19,574
	特定財源	国	0	0	0				
		都	0	0	0				
		その他	1,079	839	712				
	一般財源		36,230	36,420	56,894	68,655	67,394	69,396	19,574
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	入館者数（人）		1,241,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,300,000
	個人総貸出点数（点）		2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,904,021	1,745,400
	住基人口（翌年1月1日）		204,837	205,831	206,457	207,635	209,087	211,271	212,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
賃金	臨時職員賃金	12,682	賃金	臨時職員賃金	15,855	賃金	臨時職員賃金	16,202
報償費	朗読会講師謝礼	100	旅費	近接地内旅費	24	旅費	近接地内旅費	113
旅費	近接地内旅費	48	需用費	館運営消耗品印本	1,543	需用費	館運営消耗品印本	2,129
需用費	館運営消耗品印本	1,463	委託料	地域資料等補修委託	277	委託料	地域資料等補修委託	323
委託料	地域資料等補修委託	198	使用料等	複写機賃借料	459	使用料等	複写機賃料等	491
使用料等	複写機賃借料等	1,129	負担金補助等	日本図書館協会等会費	73	備品購入費	ブックトラック等	100
備品購入費	プロジェクター等	40				負担金補助等	日本図書館協会等会費	216

指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	入館者一人当たりの経費(円)		13.0	12.3	14.3	12.0	12.0	経費÷入館者数
	② 区民一人当り個人総貸出点数(点)		9.2	9.0	9.0	9.1	9.1	個人総貸出点数÷住基人口
	③							

（問題点・課題分析）	・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供するため、特色ある地域館のあり方について検討を進めていく。 ・区内全域に図書館サービスを行き届かせるため、新たなサービスの検討を進めるほか、複合施設「ゆいの森あらかわ」の開館後の利用状況等や(仮称)宮前公園内新尾久図書館の建設も含め、図書館全体のあり方を検討していく。 ・職員の能力を向上させるため、館外視察や企画運営力向上のための研修に派遣する。 ・図書館におけるボランティア活動を充実していく。							
	（実施 6 区 未実施 16 区 不明 0 区） 非常勤職員制度導入区：6区（千代田・品川・大田・中野・北・板橋） 指定管理者導入区：10区（千代田・港・新宿・文京・大田・杉並・板橋・練馬・足立・江戸川） 窓口業務委託実施区：20区（未実施区：千代田・新宿・荒川）							

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	新たなサービスの提供や利用者のニーズに沿った図書館運営を検討する。	利用者アンケートを実施し、その結果を荒川区子ども読書活動推進計画の策定に反映させ、今後の実施事業の選定に活用した。	特色ある地域館運営のために、利用者アンケートを継続して実施していく。
②	職員の人事評価制度や選書能力・資質向上のための館内外研修の充実させる。	職員の資質向上のため、各館でOJT研修を実施したほか、館外研修への参加を促した。	職員の人事異動も踏まえ、様々な担当を担うことができるよう人材育成に努めていく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	特色ある地域の図書館のあり方について検討を進めるとともに、図書館の管理運営に必要な職員の能力向上と、ボランティア活動の充実に向け、継続して実施する。

況議 (要 旨) 会 質 問 状	
------------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-08	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館施設の修繕	部課名	地域文化スポーツ部図書館課		課長名	田窪	
		担当者名	泉谷・黄幡		内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-04-01	営繕費（一般分）					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度○27年度）○建設事業●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和○平成37年度		根拠				
終期設定	○有●無年度		法令等				
実施基準	○法令基準内○都基準内●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ子育て教育都市					
	政策	04心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13図書館サービスの充実					
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、建物の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	図書館施設の建物修繕経費を計上						
	平成27年度の修繕内容 ・南千住図書館 給排水設備修繕ほか 全16件 3,182,155円 ・荒川図書館 ガス湯沸器交換ほか 全11件 682,049円 ・尾久図書館 自動火災報知設備交換ほか 全8件 1,881,995円 ・町屋図書館 排水管修繕ほか 全8件 1,849,401円 ・日暮里図書館 照明器具安定器交換ほか 全19件 5,585,392円						
経過	昭和37年3月 荒川図書館開設 昭和46年9月 尾久図書館開設 昭和51年10月 町屋図書館開設 昭和54年6月 日暮里図書館開設 平成10年5月 南千住図書館開設 平成19年9月 汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月 汐入図書サービスステーションの拡張 平成25年10月 汐入図書サービスステーションの拡充						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合○常勤○非常勤○臨時職員） 各館の破損状況等に応じ、業者委託により実施						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		15,016	6,921	7,285	7,630	6,972	13,181	7,026
	①決算額（28年度は見込み）		14,773	6,182	6,230	6,917	6,370	13,181	7,026
	②人件費等		5,668	7,622	5,783	6,654	5,408	5,387	
	③減価償却費		1,888	2,799	2,259	2,704	2,276	2,389	
	【事務分担量】（%）		65	90	70	80	70	70	
	合計（①+②+③）		22,329	16,603	14,272	16,275	14,054	20,957	7,026
	特定財源	国	0	0	0	0	0		
		都	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	22,329	16,603	14,272	16,275	14,054	20,957	7,026
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	全館修繕総件数(件)		74	63	63	61	62	62	62
	入館者数(人)		1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,300,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	南千住図書館	2,393	需用費	南千住図書館	3,182	需用費	南千住図書館	2,943
	荒川図書館	824		荒川図書館	682		荒川図書館	566
	尾久図書館	855		尾久図書館	1,881		尾久図書館	1,168
	町屋図書館	718		町屋図書館	1,849		町屋図書館	1,015
	日暮里図書館	1,580		日暮里図書館	5,585		日暮里図書館	1,331

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①							
②							
③							

（問題点・課題分析）	・快適に利用できる施設を維持するため、点検業務報告書を活用した計画的な修繕を実施していくとともに、特色ある図書館の運営ができるスペースを確保できるように検討していく。						
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）						

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	老朽化した設備の計画的修繕及び機械の交換を実施していく。	緊急修繕が必要になった案件については、利用者に迷惑がかからないよう工期を工夫して修繕を実施した。	老朽化した設備の計画的修繕を実施するとともに、地域館の後利用も含めて費用対効果のある修繕を実施していく。
②	中長期計画で位置づけられた改修を実施していく。	中長期計画で位置づけられた改修の実施について優先順位をつけ着実に実施できるように検討した。	中長期計画を踏まえ、地域館のあり方を検討する中で、施設の長寿命化を図る修繕を実施していく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	施設の後利用も見据え、老朽化が進む施設の維持管理のため、計画的修繕と安全確保のための緊急修繕を的確に実施していく必要がある。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-09	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館施設の改修	部課名	地域文化スポーツ部図書館課		課長名	田窪	
		担当者名	泉谷・黄幡		内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-04-02	営繕費（施設改修分）					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度○27年度）○建設事業●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和○平成37年度		根拠				
終期設定	○有●無年度		法令等				
実施基準	○法令基準内○都基準内●区独自基準			計画区分	○計画●非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅱ子育て教育都市					
	政策	04心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13図書館サービスの充実					
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	図書館施設の施設改修工事費等を計上 平成25年度の改修工事 ・町屋図書館窓ガラス飛散防止改修工事2,034,900円 ・日暮里図書館昇降機設備改修工事16,695,000円 ・日暮里図書館窓ガラス飛散防止改修工事2,774,276円 平成26年度の改修工事 ・尾久図書館外壁及び屋上防水改修工事20,088,000円 平成27年度の改修工事 ・南千住図書館空調設備部品交換修繕4,320,000円						
経過	昭和37年3月荒川図書館開設 昭和46年9月尾久図書館開設 昭和51年10月町屋図書館開設 昭和54年6月日暮里図書館開設 平成10年5月南千住図書館開設 平成19年9月汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月汐入図書サービスステーションの拡張 平成25年10月汐入図書サービスステーションの拡充						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合○常勤○非常勤○臨時職員） 営繕課に執行委任して工事实施（大規模修繕については所管課で対応）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		48,550	72,715	22,263	23,168	22,425	4,320	115,714
	①決算額（28年度は見込み）		48,489	71,463	20,721	21,504	20,748	4,320	115,714
	②人件費等		1,308	3,388	2,891	3,327	5,408	5,387	
	③減価償却費		436	1,244	1,129	1,352	2,276	2,389	
	【事務分担量】（%）		15	40	35	40	70	70	
	合計（①+②+③）		50,233	76,095	24,741	26,183	28,432	12,096	115,714
	特定財源	国		0	0	0	0	0	
都			0	0	0	0	0		
その他			0	0	0	0	0		
一般財源		50,233	76,095	24,741	26,183	28,432	12,096	115,714	
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	全館改修工事件数(件)		2	9	4	3	1	1	3
	入館者数(人)		1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,300,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	尾久外壁屋上防水工事	20,748	需用費	南千住空調設備修繕	4,320	工事請負費	町屋トイレ・日暮里屋上防水工事	115,714

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①							
②							
③							

（問題点・課題分析）	・尾久図書館、町屋図書館、日暮里図書館はいずれも建設後の経過年数が30年以上となっており、老朽化が進んでいる。尾久図書館は、（仮称）宮前公園内新尾久図書館に移設されることになったが、その他の館についても各館の特色を活かしつつ、荒川区公共建物中長期改修実施計画及び今後の公共施設のあり方の検討を踏まえ、改修を実行していく。						
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） ・文京区立真砂図書館 平成27年6月から平成28年6月までリニューアル工事予定 ・練馬区平和台図書館 平成27年7月から平成28年4月まで大規模改修予定						

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	中長期改修計画に基づく日暮里図書館の給排水工事を含む全面リニューアルを検討する。	施設の長寿命化を図るため、南千住図書館の空調設備の交換を実施した。	町屋図書館のトイレのバリアフリー化、日暮里図書館の屋上外壁防水工事を実施する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	魅力ある地域の図書館の実現に向け、老朽化が進む施設の長寿命化を図るため、区の中長期改修計画を踏まえ継続して取り組む必要がある。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード		04-05-10	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書サービスステーション			部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	
				担当者名	泉谷	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-98-98		図書サービスステーション管理運営費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度○27年度）			○建設事業		○それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和●平成19年度			根拠	荒川区立図書館図書サービスステーション運営			
終期設定	○有●無年度			法令等	要綱			
実施基準	○法令基準内○都基準内●区独自基準			計画区分	●計画○非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅱ子育て教育都市						
	政策	04心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成						
	施策	13図書館サービスの充実						
目的	・近くに図書館がないため、図書館サービスが行き届きにくいと思われる地域に図書サービスステーションを設置し、図書館サービスに対する区民の利便性の向上を図る。 ・急増している子育て世代に対する子育て教育環境の整備（汐入地域） ・商店街の空き店舗を活用し、商店街振興に寄与する。							
対象者等	図書館利用者							
内容	汐入図書サービスステーション（荒川区南千住8-12-5 べるぼーと汐入東館1F109・113・114号室） ※社協が運営する「おもちゃ図書館」と隣接 面積:124.07㎡ 開館日:平成19年9月8日 業務内容:利用者登録、検索、予約、貸出、返却 蔵書冊数 図書12,922冊、雑誌433冊（H27年4月1日） 26年度入館者数:176,006人（1日当たり591人） 貸出者数:76,240人（1日当たり256人） 冠新道図書サービスステーション（荒川区西日暮里6-25-14） 面積:181.44㎡ 開館日:平成21年11月14日 業務内容:利用者登録、検索、予約、貸出、返却 蔵書冊数 図書11,791冊、雑誌504冊（H27年4月1日） 26年度入館者数:64,094人（1日当たり215人） 貸出者数:39,094人（1日当たり131人）							
経過	・「これからの図書館調査懇談会報告書」（平成18年4月）において、SS設置の提言を受けた。 ・「荒川区基本計画」（平成19年度～平成28年度）「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 ・「あらかわ刷新プラン」（平成17年度～21年度）及び「荒川区実施計画」（平成19年度～平成22年度）において、平成19年度に「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 ・平成19年9月8日 汐入図書サービスステーション開設 ・平成21年11月14日 冠新道図書サービスステーション開設 ・平成22年12月18日 汐入図書サービスステーションのフロアの拡張を実施し蔵書の充実を行った。また、拡張したフロア部分に「柳田邦男さんおすすめ絵本コーナー」を設置した。 ・平成25年10月1日 汐入図書サービスステーションのフロアを拡充するとともに、2,500冊程度の蔵書の充実を図った。							
必要性	近くに図書館が無く、図書館サービスが行き届きにくい地域に図書館サービスを提供するため、必要性が高い事業である。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員）							

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		43,980	23,001	19,711	25,659	22,268		
	①決算額（28年度は見込み）		38,410	21,166	18,646	24,882	22,132	0	
	②人件費等		11,860	15,307	2,478	4,990	2,318	3,991	
	③減価償却費		4,939	7,309	968	2,028	975	2,389	
	【事務分担量】（%）		170	235	30	60	30	70	
	合計（①+②+③）		55,209	43,782	22,092	31,900	25,425	6,380	0
	特定財源	国	0	0	0	0			
		都	0	0	0	0			
		その他	3,789	1,349	1,284	1,277			
		一般財源	51,420	42,433	20,808	30,623	25,425	6,380	0
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	入館者数（人）	汐入	162,755	189,854	188,942	180,329	176,006	180,000	180000
		冠新道	51,407	5,1610	53,966	56,483	64,094	64,500	64500
	個人貸出者数（人）	汐入	70,966	77,115	75,779	75,770	76,240	77,000	77000
		冠新道	30,368	32,031	33,402	35,415	39,094	40,000	40000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
賃金	臨時職員賃金	3,004						
需用費	図書その他消耗品等	4,634						
役務費	電話料等	251						
委託料	図書館システム保守等	1,971						
使用料等	建物賃借料等	12,272						

指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値（28年度）	
①	① 汐入個人貸出者数（人）		75,770	76240	77000	77,000	78,000	
	② 冠新道個人貸出者数（人）		35,415	39,094	39500	39,500	39,500	
	③							

（問題点・課題分析）	・ 汐入図書SSについては、平成25年10月にフロアの一部拡張を行った。両SSとも質の向上を目指し、資料の入れ替え等に力を入れるとともに、利用促進のPRに努めていく。 ・ 区内全域に図書館サービスを行き届かせるため、SSの設置または新たなサービスを検討していく。							
	（実施 4 区 未実施 18 区 不明 0 区） 類似する施策として、駅前等サービスコーナーの設置事例がある区 品川区、杉並区、豊島区（図書の返却及び予約本の貸出業務のみ）、足立区							

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	魅力あるSSづくりのためのコーナー設置、蔵書の入れ替えを進める。	27年度以降図書館施設の管理等へ組み換え	27年度以降図書館施設の管理等へ組み換え
②	近くに図書館がない地域へのサービスステーション設置等新たなサービスを検討する。		
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	休止・完了	27年度以降図書館施設の管理等へ組み換え

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--